昨年度評価（R5年度）

【主たる中施策事業】評価と現状認識

※	1_事業名	2_関連する重点事業名	3_総合評価	4_R5年度決算①	5_R6年度予算②	6_差（②-①）	7_評価と現状認識	8_所属
4	いじめ・不登校対策充実事業		B	30,745	49,461	18,716	新型コロナによる環境の変化の影響もあり、不登校児童生徒数は増加している。その解決に関し、SC（スクールカウンセラー）、SSW（スクールソーシャルワーカー）の対応する案件も増加しているが、不登校の理由は多岐に渡っており、相談内容が複雑化している。相談体制の強化や、不登校児童生徒の居場所づくりとして、中学校内にフリースクールの設置および人材を配置するなどより多方面な手段による対応を進めていく必要がある。	学校教育課
38	学力向上対策事業	・特別支援教育指導員配置事業 ・学校水泳運動指導業務委託事業 ・少人数学級の実施に係る任期付市費負担教員配置事業	B	130,692	126,395	-4,297	学校水泳運動指導事業、小中学校英語指導助手派遣等の各種委託事業、追加事業の英語検定受験料への補助金交付事業などを通じて、より質の高い教育を受けられる環境や学力向上を支援する体制を整えることができた。各種事業について、現状の実施形態を踏襲するだけでなく、どよう塾に代えて実施する地域塾など常に効率的・効果的な実施へ見直しを続けることが求められる。	学校教育課
38	指導力向上事業		A	5,530	3,813	-1,717	GIGAスクールなどの推進により、教育現場においてタブレット等を使った環境は年々定着してきている。しかしながら教職員間において、その技量、意識により活用に差が生じている現状があり、より効果的な活用については、教職員への支援や計画的な指導力の向上が不可欠である。今後の電子黒板の導入や機器更新など、ハード面における環境整備もさらに進むことから、ICT支援員の活用による研修などを通じ、教職員全体のICTリテラシーの向上が不可欠である。	学校教育課
38	定住外国人児童生徒支援事業		B	39,014	48,019	9,005	日本語教育指導専門員の雇用やプレクラス、プレスクール事業により、きめ細かな適切な指導が進められ、一定の成果が出てきている。一方で、年々多国籍、多言語化が進み、さらに該当児童生徒についても市内各校に分散した状態になってきている。多言語化、分散化に対し、各校配置の日本語指導担当教員の指導力向上や多言語の外国語指導員の適正配置により対応していく必要がある。	学校教育課
38	特別支援教育事業		A	110,087	42,488	-67,599	特別支援教育支援員を配置し支援体制を整え対応していることに加え、令和4年度より特別支援教育専門員を配置している。各校の特別支援学級や通級指導教室の担任に対して各児童生徒の障害の種別や程度による指導ができるように技量の向上に向けての体制ができてきている。 医療的ケア児については、現時点では該当はないが、今後の受け入れ、支援体制について、引き続き検討を進める必要がある。	学校教育課
28	放課後育成事業	・（栄小学校内）児童クラブ室等建設事業	A	191,960	199,805	7,845	現時点では児童クラブの待機児童は生じていないが、今後も利用希望者が増え続けることが想定されることから、引き続き利用者ニーズを把握し、待機児童を出さないよう対応を進める。児童クラブ、放課後子ども教室のスムーズな運営においては、学校や児童館との連携を重視していく。さらに、学校内で放課後子ども教室を開催できていない舘小学校については、新校舎の完成に合わせ学校内での開催に向け準備をすすめていく。	学校教育課
38	学校給食事業	・給食の充実補助事業 ・給食センター栄調理場調理業務委託事業 ・給食費補助事業	B	445,980	489,000	43,020	物価高騰等による給食費負担増に対する補助により、保護者の負担額について現状を維持することで負担軽減が図られている。また栄養教諭による栄養指導や献立の工夫による残菜量の増加の抑制や食育推進が図られている。今後、物価高騰の動向を勘案しながら負担増を抑制しつつ、豊明のおいしい給食の提供を維持していく検討が必要となっている。	学校教育課
24	小中学校給食施設維持管理事業		B	234,824	86,891	-147,933	調理場は2場とも老朽化が進行しており、新給食センターの統合整理を見据え、安定した給食提供のため緊急工事なども実施しつつ、必要な修繕により施設・設備の安定稼働させることができている。新センター整備にあたっては、用地確保を完了することができた。令和9年度開始を目指し、引き続きPFI事業者選定、契約につなげるよう要求水準書等の検討を進めていく。	学校教育課
13	小中学校施設維持管理事業	・小学校校内LAN増設工事 ・中学校校内LAN増設等工事 ・豊明中学校テニスコート整備事業 ・舘小学校校舎建設事業 ・中学校トイレ改修事業 ・小学校屋上防水等改修事業 ・小学校外壁改修等事業 ・小学校防火設備改修事業	B	690,930	474,017	-216,913	各学校施設においては老朽化、旧態化が進行しており、安全性の課題があるものは最優先事項としつつ、トイレ洋式化など児童生徒の学習・生活環境に支障があるものについて改修工事を行ってきた。緊急性が求められる改修については、今後も補正予算を編成するなど随時対応も想定しながら早期に解決できるよう対応していく。今後も計画的に行われる大規模改修工事を見据え、児童生徒が安心して学校生活が送れる環境整備を行っていく。	学校教育課
37	学校と地域の連携事業	・中学校部活動指導事業	B	2,801	2,689	-112	中学校部活動の地域移行について、検討委員会を開催し、一部の部活動についてモデル事業を実施することができた。令和6年度から生涯学習課へ主担当を移すが、引き続きモデル事業を増やしながら、試験的な実施を通して令和8年度の本格移行に向けて準備を行っていく。学校、体育協会等関係団体との協議のほか、委託化なども視野に入れながら、段階的な協議を進めているが、課題が多い現状である。	学校教育課
21	文化財保護事業		A	8,206	9,891	1,685	歴史民俗資料室のリニューアルオープン後、パネル改修などを実施し、市民により身近に豊明市の歴史を知ってもらえるようになっている。提灯山のイベントなども含め、各ワークショップや各種講座も盛況な運営となった。今後も、魅力ある講座等を企画することにより新規来場者の増加を図るとともに、リピーターにも魅力ある事業運営を行っていく。	生涯学習課

教育部

21	文化会館管理運営事業	・文化会館指定管理更新事業	B	101,466	102,526	1,060	新たな指定管理者による運営が始まり、コロナの影響もなくスムーズな事業運営ができている。旧喫茶ルームは現在農協が産直に使用しているが利用終了の予定が決まっており、当スペースの用途や、施設全体の改修の予定など、市民にとって魅力があり、安全に利用できる施設への検討が必要である。	生涯学習課
11	体育施設維持管理運営事業	・福祉体育館柔道場畳取替え事業 ・山田グラウンド用地購入事業 ・福祉体育館トイレ等改修事業 ・勅使グラウンド工作物改修事業 ・福祉体育館消火設備改修事業	B	266,967	83,567	-183,400	施設の老朽化、旧態化が進んでおり、市民の安全かつ快適な利用に不可欠な、福祉体育館のトイレ改修や柔道場の畳の入れ替えを実施した。今後の大規模修繕を想定しつつ、指定管理者と調整しながら、継続して安全かつ快適な利用環境を維持していく必要がある。また指定管理者の更新され、老人福祉センターとの一体施設との運用が可能となることから、今後、幅広い世代へのより弾力的な利用が期待できる。	生涯学習課
15	公民館管理運営事業	・とよあけ市民大学ひまわり講座運営委託事業 ・南部公民館備品購入事業 ・南部公民館リニューアル関連事業 ・南部公民館図書室機能拡充等整備事業	B	86,171	23,721	-62,450	南部公民館は、コロナ禍に引き続き、リニューアル工事により利用者は伸びていない。リニューアル後は、コロナ後の本来の意味での利用者数が見込まれるが、図書スペース等の拡大や改修により、施設全体としての機能や魅力が増していることを機会としてとらえ、施設の認知や、公民館機能の充実について検討を進めていく必要がある。市民大学「ひまわり」の市民講座も年々充実してきている。	生涯学習課
21	図書館資料貸出事業	・図書館資料拡充事業 ・南部公民館図書室書架購入事業	B	40,032	46,399	6,367	図書館は、トイレ工事に伴う休館により、貸出冊数や新規登録者数に影響が出たが、利用者全体としては安定している。 南部公民館図書室は改修により図書スペースやキッズスペース等を整備し、快適さの向上を図ることができた。駅前という立地から、通勤通学者等に向けてのPRや、手に取りやすい図書の拡充などの検討により、利用増を見込むことも可能と思われる。	図書館
13	図書館施設維持管理事業	・図書館トイレ等改修事業 ・図書館外壁改修事業	B	110,588	25,883	-84,705	トイレ工事で休館していた影響で、来館者数は減少したが、トイレ洋式化や授乳スペースの整備等ができたことで、より来館者が快適に利用できることとなった。施設について、開館当時からの設備も多く、建物、設備とも老朽化が進んでおり、突発的な不具合による運営への影響も懸念されるところである。今後の大規模改修も視野に入れつつ、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持していく必要がある。	図書館

※事業が関連するめざすまちの姿の番号です。

「3_総合評価」から「6_差」の内容は、各所属の中施策評価書からの転記です。